

一、本年度の共通課題は昨年と同一趣旨でやりたい。昨年の共同討議は、いくつかの点で活潑な論議も行われたが、全体としては共通課題によって明らかとされるべき推進力ないし阻止力の諸ポイント、或いは検討すべき論点が十分明らかにならなかった。その意味で折角とりあげたテーマですから、今年度も継続し、何らかの成果をあげたい。

二、その場合、昨年の共通課題報告は、島崎氏の報告を除き、事例報告の形で課題に接近するものであったが、今年度は或程度何らかの焦点をきめ、その問題につき諸事例を土台としながら、或程度理論的枠組を提示する仕方では報告を求めるところにしたらどうか。三、そのような論点として次のようなものがさし当り考えられると

思う。(1)昨年、島崎氏報告で提示された「行政」の問題——構造改善などを含めて（農村行政も含め）。(2)農民組織、農民運動——この点も島崎氏の研究会報告をさらに具体的に展開する必要がある。(3)農村指導者層の性格の問題（諸役職者層の性格）。